

No.327

理研会報

3月に入り、春の息吹を感じますが、朝夕の冷え込みは未だ厳しい今日この頃です。先生方におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。さて、平成18年度も残すところあとわずかとなりました。本号では、研究部長の挨拶と、2月21日（水）に成田小学校で行われた印教研理科研究部研修会のもようを掲載します。

〔研究部長挨拶〕

平成18年度を終えて

「勢いのある理科研究部へ」

研究部長 飯田 和宏（根木名小学校）

例年にない暖かい冬となった今年、草花の芽吹きも早く、まさしく春がすぐそこまでやってくる年度末ですが、会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、お陰様で平成18年度も、会員の皆様のご支援、ご協力により、年度当初予定していた印教研理科研究部としての事業もそれなりの成果を上げつつ終了することができました。心より御礼申し上げます。

戦後、「科学立国」「物づくり大国」として成長してきた日本。その原点は「理科教育であった」と振り返る人々がたくさんおります。と同時に「科学立国」「物づくり大国」として成長してきた日本を再び盛り上げなければという声も数多く聞かれています。現に中央の各種審議会や委員会等においても「理数教育の充実」ということが語られてきています。

そのような状況の中、直接子どもたちとのかかわりの中で理科学習を推進してきている現場人として、私たちは、印教研理科研究部の役割を今一度見つめ直し、多くの仲間とともにその充実に努めていくことが大切であると考えています。と同時に、仲間との研究推進は、まさしく今求められている「教師力」を高めていく第一歩であると

考えます。

平成18年度、会員の先生方のご支援、ご協力に感謝しつつ、今後、ますます数多くの仲間とともに充実した研究推進のできる「勢いのある研究部」としての取り組みをお願いして、年度末の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

〔印教研理科研究部研修会〕

下記の日程・場所において、今年度最後となる印教研理科研究部役員会および研究員集会が行われました。今年度の理科研究部の活動や、決算などの報告、また、それぞれの部会の実技研修会報告などがありました。



- 1. 日時 平成19年2月21日（水）
PM2：15～PM4：30
- 2. 場所 成田市立成田小学校
- 3. 内容 役員会及び研究員集会
 - ①役員会 PM2：15～PM3：00
 - ・平成18年度事業報告
 - ・平成19年度事業計画 ほか
 - ②研究員集会 PM3:00～
「理科教育研究の在り方について」

講師：千葉県総合教育センター科学技術教育部
研究指導主事 東城 孝 先生

東城先生の講義につきましては、裏面に掲載しております。

役員会終了後、千葉県総合教育センター科学技術教育部の東城先生をお招きして、ご講義をいただきました。今後、理科教育をすすめていく上で、どのような点を意識しなければならないか、これからの教師に求められるものは何か…など、パワーポイントの画面を通して、具体的な資料とともにお話いただきました。

「理科教育研究のすすめ方」


千葉県総合教育センター 科学技術教育部 東城 孝 先生

- これから新規採用される教員は、高等学校で物理・化学・生物・地学の4分野を、十分学ばずに教壇に立つことになる。→今後、研修をしっかりと行う必要あり。
- 夏休み前は、論文指導のチャンス。プリントなどを用意して丁寧に指導するとよい。
- 論文を書くときは、テーマの設定 → 設定の理由を大切に。
- 長期研修について（下のスライド参照）

長期研修生への期待

- 何を求めて長期研修に出るのか
 - ・本人のキャリアアップのため
 - ・直面している課題解決のため
 - ・中・後期層教員として指導者となるため
- 取り組む研究は何か
 - ・教育の理論や理念に関する研究
 - ・教材開発的研究
 - ・調査研究
 - ・実験的研究
 - ・事例研究
 - ・実践研究

長期研修に出るまでに

- 問われている教育課題は何か
 - 1年間のベースとなる課題は何か
 - 先行研究は何かがあるか
 - 研修を受ける場所はどこか
 - ・県総合教育センター
 - ・千葉大学
- ・博物館
 - ・研究施設
 - ・その他の大学
- 

- 子どもたちに還元できるような研究を。
- 子どもたちにどんな力を付けさせたいのか明確にした研究を。



他にも、「科学技術関係人材総合プラン2007」における予算案や、理科支援員等配置事業のなどの紹介をしていただいた。国を挙げて理科教育が推進されていることを、改めて知ることができた。理科教育に携わる教員として、これから、さらに研鑽を積んでいかなければならないという思いを強くした。

今年度の理研会報は、320号～327号までの8号を発行することができました。お忙しい中、原稿にご協力いただいた先生方、本当にありがとうございました。

来年度も、できるだけ多くの会報を発行し、印旛地区理科研究部の活動を広めていけるよう努めてまいります。また、事業報告だけでなく、先生方の日頃の実践、あるいは旅行記など、幅広

く記事を掲載したいと考えております。今後とも、ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、これまで発行した理研会報は、理科研究部ホームページでも閲覧できるようにしております。こちらのほうも、さらに充実させていきたいと考えておりますので、ご意見・ご感想等がございましたら、事務局までお願いします。

アドレス：www.rikainba.or.tv